

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3200411号
(U3200411)

(45) 発行日 平成27年10月22日 (2015. 10. 22)

(24) 登録日 平成27年9月30日 (2015. 9. 30)

(51) Int. Cl.

G 0 9 F 17/00 (2006.01)

F 1

G 0 9 F 17/00

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2015-2962 (U2015-2962)
(22) 出願日 平成27年5月25日 (2015. 5. 25)(73) 実用新案権者 508163371
有限会社 ミナミ工芸
大阪府大阪市旭区新森3丁目5-1
(72) 考案者 南 成吉
大阪府大阪市旭区新森2丁目9-18

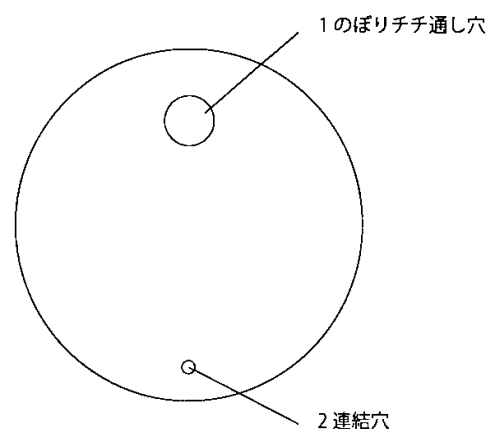
(54) 【考案の名称】 のぼり旗巻き上がり防止用品

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】簡単に設置でき且つ、のぼり旗の摩耗と巻きつきを軽減する事が出来るのぼり旗巻き上がり防止用品を提供する。

【解決手段】のぼりチチ通し穴1が設けられており、1mm厚のプラスチック樹脂板からなる。のぼり旗を取付用ポールなどに通す際に、最下部のチチを通す時に、のぼりチチ通し穴1にチチを通してからポールに通す。強風の地域などの場合は重量を増すために、さらに連結用穴2を利用して結束バンド等で下にもう一枚連結する事も出来る。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

のぼり巻き上がり用品として、従来の商品の様にプラスチック製で挟み込んで固定するのではなく、1mm樹脂板を使用し穴にのぼり旗のチチを通してぶら下げて使用する。

【考案の詳細な説明】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【001】

この考案は、プラスチック樹脂板を利用した、のぼり旗巻き上がり防止用品に関する物である。 10

【背景技術】

【002】

従来プラスチック製で、のぼりポールなどに旗を固定する巻き上がり防止用品があった。

【考案が解決しようとする課題】

【003】

従来の物は次の様な問題点があった

(イ) プラスチック製で割れやすいものであった。

(ロ) ポールにのぼり旗のチチが固定されるので旗がよじれる事がある。

(ハ) ポールにチチが固定されるので、チチ部分の劣化が激しかった。 20

本考案は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【004】

1mmプラスチック樹脂板にすることで割れにくく安価な材料になる。

のぼり旗のチチ部分を通すだけなので、設置も簡単で固定しないのでのぼり旗がよじれたりしないため、のぼり旗の広告も読みやすさを保つことができる。風の強い地域では、複数枚を結束穴（小）にて結束して使用する事で重量を出し、より巻き上がりにくくすることができる。

【考案を実施するための形態】

【005】

以下、本案の実施の形態について説明する。 30

(イ) 本商品の大きい穴にのぼり旗の最下部のチチを通す

(ロ) 通常と同じ手順でのぼり旗を、のぼり取り付け用ポールにセットする。

(ハ) 風強い等さらに強度が必要な場合は2枚を下部連結穴を利用し

【考案の効果】

【006】

本考案は、1mmプラスチック樹脂板を使用し、設置が簡単でのぼり旗の劣化を回避して、巻き上がりを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

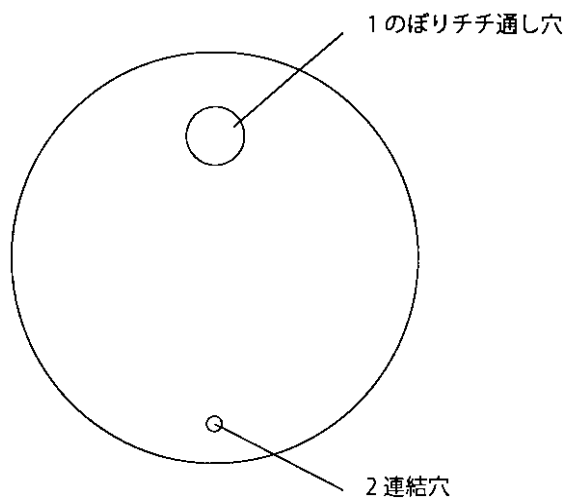
【図1】 本考案の正面図である。 40

【図2】 本考案の側面図である。

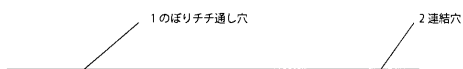
【符号の説明】

1 のぼりチチ通し穴 2 連結用穴

【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成27年7月18日(2015.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

のぼりチチ通し穴が設けられており、
1 mm厚のプラスチック樹脂板からなる
ことを特徴とするのぼり旗巻き上がり防止用品。